

## 「近江鍛工株式会社」

大津納税協会副会長

創業 1951年（昭和26年）

本社 滋賀県大津市月輪1-4-6



代表取締役社長  
坂口康一さん

手のひらに乗る小さなものから、業界最大級となる大口径リング、長尺リングなど、顧客の要望に応じたリング鍛造で世界の上位に名を連ねる近江鍛工。昨年には、自由鍛造で業界最大級となるプレス機も導入し、「日本一の鍛造屋」をめざす代表取締役社長の坂口康一さんにお話をお伺いしました。



小さなものも扱っている



1200℃に熱した金属を、8000トンのプレス機にかけ、金属の中心を抜き、リング状になるよう広げていく



でき上がったリング鍛造品は、納品後用途に合わせて加工される

取材／パールバック

## 新しい製造業のあり方を模索し、「日本一の鍛造屋」をめざす

「日本一の鍛造屋になる」。鍛造メーカーに勤めていた父が独立し、大阪市福島区に坂口鍛工所を創業したのが1951年。小学生だった私は、ガチャンガチャンという機械音を目覚まし代わりに、早朝から働く父の姿を見て育ちました。業績も順調に伸び、近江鍛工と社名を改め現在の本社地である大津市に移転したのが、その5年後のことです。創業当初から紡績機向けのベアリング（軸受）やパイプのジョイントなどの元になるリング鍛造をメインに、現在では、新幹線やジェットエンジンの軸受、船舶や石油掘削機の部品など多くのリング鍛造品を製造しています。

サイズを絞って製造する企業が多い中、当社で製造する鍛造品は、手のひらに乗る外径150ミリの小口径から、5000ミリの大口径まで多岐にわたります。大き

さ、形、強度など、お客様の要望には、どんなものにも応えられるよう、生産能力のアップはもとより、高速鍛造などこれまで難しかった加工ができる最新設備を導入し、技術者の能力を向上させる積極的な投資を行っています。昨年、自由鍛造用途では業界最大級となる1万5000トンのプレス装置を導入し、製造を開始しました。製造業を例えによく言われる3K。これは「きつい、汚い、危険」ではなく、「勘、コツ、経験」なんだと社員に話をしています。良い意味で楽をするために、社員にはもっと頭を使ってもらいたい。例えば、人間の手作業を数値化し、機械にインプットできれば、製造業は昔の3Kではなくなりません。これからも新しい製造業のあり方を模索しつつ、「日本一の鍛造屋」をめざしたいと思います。